

## 施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 1 - (4)

政策体系	施策名	信頼される学校づくりの推進	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	141
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	教育庁、福祉保健部、生活環境部		

### 【 . 主な取り組み】

取組				
取組項目	目標達成に向けた 組織的な取り組みの推進	地域とともにある学校づくりの推進	教職員の意識改革と資質能力の向上	魅力ある高等学校づくりの推進
取組				
取組項目	魅力ある私立学校づくりへの支援			

### 【 . 目標指標】

指 標	関連する 取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率(%)	小学校	H25	16.0	29.8 (H28)	72.3 (H28)	242.6%	40.0	65.0						
	中学校	H25	13.0	22.2 (H28)	74.0 (H28)	333.3%	30.0	45.0						

### 【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	学校・家庭・地域が学校の教育目標を共有し達成に向けて協働する目標協働達成の取組やコミュニティ・スクールの取組を推進したことにより、学校・家庭・地域の連携・協働が図られ、目標値を達成した。なお、H29年度実績値が未確定のため、H29年度の目標値と実績値はH28年度の数値を記載している。	達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<p>・スクールカウンセラー等の専門スタッフや養護教諭等の少数職種の教職員が専門性を発揮できる各学校の体制づくりを、教育事務所が「チーム学校」の視点を取り入れた「『芯の通った学校組織』推進プラン 第2ステージ」に沿って支援・指導した。</p> <p>・学校いじめ対策組織や不登校対策委員会等にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが参加することにより、「チーム学校」による組織的な教育相談体制が構築された。</p> <p>・有識者等で構成される大分県立高等学校第三者評価の評価項目を精選して実施したことにより、課題がより明確となり、学校改革の推進が図られた。</p>
	<p>・地域人材を活用した放課後等の活動に12,839人の児童・生徒が参加した。(前年比+1,025人)</p> <p>・中学校の運動部活動で、外部指導者として645人の地域人材を活用した。</p>
	<p>・H29年度から38歳の教員を対象にした学校組織マネジメント研修を実施したことにより、中堅期の段階から学校経営参画に求められる資質能力の向上を図ることができた。</p> <p>・定期健康診断で「要観察」以上の判定を受けた教職員が、生活習慣改善の必要性を認識し、健康的な生活習慣を実践できるよう、産業医及び保健師による面接を実施するとともに、血液サラサラセミナーの開催等によりセルフケアの意識を高めた。</p>
	<p>・高校生による小・中学校での学習サポート活動や地域と連携したお祭りの継承活動等を実施したことにより、学校の魅力化・特色化が進み、地域の中学卒業生が減少しているにもかかわらず、指定された16校では、事業実施前のH28年度入試と比較して、H30年度入試では欠員総数が11名減少(198人 187人)した。</p>
	<p>・県内私立学校に対し研修やアドバイスを行うコーディネーターの配置など就職指導の充実支援に取り組んだ結果、H29年度の私立高校生の就職内定率は99.7%と高水準を維持できた。</p>

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト (千円)	事務事業評価		主要な施策の 成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	いじめ・不登校等未然防止対策事業	196,535	A	継続・見直し	259
	いじめ・不登校等解決支援事業	164,815	A	継続・見直し	260
	不登校児童生徒支援体制整備事業	29,297	A	継続・見直し	261
	「協育」ネットワーク連携促進事業	75,594	A	継続・見直し	266
	地域の高校活性化支援事業	29,292	C	継続・見直し	264
	私立学校運営費補助	3,347,348	A	継続・見直し	123
	私立幼稚園運営費	910,656	A	継続・見直し	95

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>平成29年度第2回「協育」ネットワーク支援者研修会(H29.10)          ・地域の支援者が子どもを育む体制づくりが定着してきたことにより、学びや体験活動が充実してきている。</p>	
---	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『芯の通った学校組織』推進プラン 第2ステージ～大分県版『チーム学校』実現プラン～」に沿って「芯の通った学校組織」の取組を深化することにより、学力・体力向上や不登校対策などの教育課題への組織的取組を進め、教育水準の更なる向上を図る。</li> <li>・学校・家庭・地域が学校の教育目標を共有し達成に向けて協働する目標協働達成の取組の全県展開やコミュニティ・スクールの普及・促進により、家庭・地域と連携した学校づくりを引き続き推進する。</li> <li>・企業、大学、その他団体等との連携を強化することにより、多様な放課後等活動プログラムを提供する。</li> <li>・大学生や地元高校生等を活用し、中学生に対する補充学習の更なる充実を図る。</li> <li>・学校や生徒の多様なニーズに対応できるよう、地域スポーツ指導者の発掘及び活用を促進する。</li> <li>・「求められる教職員」の育成に向け、「大分県公立学校教職員の人材育成方針」及び「大分県公立学校教員育成指標」に基づき、キャリアステージに応じた体系的な研修を構築・実施する。</li> <li>・体系的な校外研修や管理職の指導のもと学校内で組織的・継続的に実施される校内研修の充実を図る。</li> <li>・管理職研修やミドルリーダー研修での「OJTの手引き」の活用、ステップアップ研修と中堅教諭等資質向上研修の一部合同実施による相互交流など、OJT推進に向けた支援を行うことで人材育成を推進する。</li> <li>・教職員評価システムの効果的運用による人材育成と教職員の意識改革を図る。</li> <li>・定期健康診断で有所見率の高い血清脂質、肥満、血圧の各項目において、教職員が自身の生活習慣を見直し改善につなげるための指導を引き続き行う。</li> <li>・メンタル不調者の早期発見・早期対応のため、ストレスチェックの徹底、各所属における集団分析に基づく職場環境の改善、管理監督者等への研修などを通じ、セルフケア、ラインケアの充実を図る。</li> <li>・地域の高校が地元住民や中学校と連携し、生徒の学力向上や地域に根ざした魅力・特色ある取組を企画・実施することにより、地元で信頼され生徒から選ばれる高校づくりを引き続き推進する。</li> </ul>